

平成26年3月
大野市（福井県）

○計画期間：平成25年4月から平成30年3月まで(5年間)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成25年度終了時点(平成26年3月31日時点)の中心市街地の概況

当市は、第5次大野市総合計画（計画期間；平成23年度～32年度）において大野市の将来像を「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」とし、「人が元気」「産業が元気」「自然が元気」「行財政改革」の4つの柱、36の基本施策を定めている。その基本施策の一つに中心市街地の活性化を位置づけており、400年以上前から残る城下町の町並みは本市の宝であり顔であることから、多様な人々が集う、活気に満ちた魅力あるまちに再生することを目指している。

第2期大野市中心市街地活性化基本計画は平成25年3月に認定を受け、初年度となった平成25年度は数値目標達成に向けた各種取り組みを推し進めた。

まず、中心市街地活性化のけん引役となる新たなまちづくり会社「株式会社 結のまち越前おおの」が平成25年1月に設立され、まちなかを散策しながら飲食店等で大野の魅力を体験できる「越前おおの食べ歩き・見て歩きマップ事業」を中心に事業を展開した。合わせて「中心市街地商店街賑わい集客施設整備事業」（仮称）の事業化に向けた遊休不動産の現況調査、来街者のニーズ調査などを行っており、市は事業化に向けた取り組みなどに対し「民間まちづくり支援事業」を実施している。

交流人口の増加に関しては、まちなか遠足や学生合宿の誘致、滞在型観光企画の提案による観光バスのまちなかへの誘導を進めた。さらに、「新にぎわい商業ゾーン形成事業」において城下町の歴史を伝える写真展の開催、商店に伝わる古道具や美術品を店先に展示して巡る「まちなかお宝めぐりラリー」を実施するなど魅力発信を進めた結果、歩行者通行量が目標値を大きく上回るなど、効果が表れてきている。この効果をさらに高めるため、本年3月21日から来年2月8日までを期間とする「結の故郷（ゆいのくに）発祥祭事業」を官民一体で開催し、「結の故郷」を全国に発信することで交流人口の増加につなげていく。

2. 平成25年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成25年度は、第2期大野市中心市街地活性化基本計画掲載事業の「越前おおのおもてなし事業」や商店街が連携した「歴史の道再生事業及び新にぎわい商業ゾーン形成事業」、「結の故郷イメージ確立事業」等の実施により、中心市街地への観光客及び市民の入込数が増加しており、主要4施設の入込数及び市内7地点における通行量調査結果では、いずれも前年を上回っている。特に、まちなか歩行者・自転車の通行量は基準年の1.87倍、前年の1.72倍となっており、第1期大野市中心市街地活性化基本計画で整備された「越前おおの結ステーション」及び「城下町東広場」を起点とする中心市街地へ回遊する仕組みができていると言える。まちなか循環バスや乗合タクシーの利用者数は、前年とほぼ同数で推移しており、高齢者等の交通弱者が中心市街地へ足を運ぶ手段として機能している。

また、まちなかにおける新たな動きも出てきている。大野商工会議所が行った新規開業支援件数は8件（うち中心市街地での創業4件）あったほか、越前おおの中心市街地活性化協議会が中心となり、次代を担う若者や若手後継者によるまちづくりを進めるために立ち上げた「越前おおの美濃街道プロジェクト」による、市内商店街の仕出し鮮魚店を活用した事業や、商店街の軒先に提灯をともし取り組みが進められている。

平成25年1月に設立されたまちづくり会社「株式会社 結のまち越前おおの」は、遊休不動産の活用に向けた調査などを行っており、さらなる民間事業の促進が期待される。

平成25年度は、第2期大野市中心市街地活性化基本計画の初年度として、前期計画の成果を踏まえ、新たな取り組みを行うなど着実に事業が推進されているものとする。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
まちなか観光による交流人口の増加	関連施設の年間入込み客数(中心市街地主要4施設)	136,093人 (平成23年)	144,000人 (平成29年)	140,681人 (平成25年)	—	①
商店街を中心としたまちなか生活の充実	1日当たりの歩行者通行量(休日)春・秋の合計値	4,907人 (平成23年度)	6,000人 (平成29年度)	9,200人 (平成25年度)	—	①
豊かな暮らしを支える公共交通の実現	まちなか循環バス、乗合タクシー利用者数(年間)	28,685人 (平成23年度)	30,500人 (平成29年度)	25,043人 (平成25年度)	—	②

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

目標指標のうち「まちなか循環バス、乗合タクシー利用者数(年間)」は基準値を下回ったが、本格運行前の平成23年度(基準値)と比較して一便当たりの乗客数は増加傾向となっている。目標達成に寄与する「市民ホール整備事業」や「バス停留所整備事業」など主要事業が今後実施予定であることを考慮すれば取り組みは概ね順調に進んでいるが、まちなか循環バスのルート設定、便数などが目標設定時の環境と異なることから目標達成は容易ではない。平成26年度以降、「高齢者ゆうゆう購買促進事業」の対象を市外へ拡大するほか、まちづくり会社が発行する「食べ歩き・見て歩きマップ事業」と連携した公共交通の利用促進を図るなどさらなる対策を講じることで、引き続き目標達成に向けて取り組みを促進していく。

「関連施設の年間入込み客数(中心市街地主要4施設)」及び「1日当たりの歩行者通行量(休日)」は、基準値を超えており、引き続き主要事業への取り組みを進めることで目標達成は可能であると見込んでいる。特に関連施設の年間入込み客数に相乗効果が期待できる「歴史的建造物

保存整備事業」は現在、建物の解体・復元工事に取りかかっており、平成27年4月の開館を予定していることから、目標達成に大きく寄与すると見込んでいる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

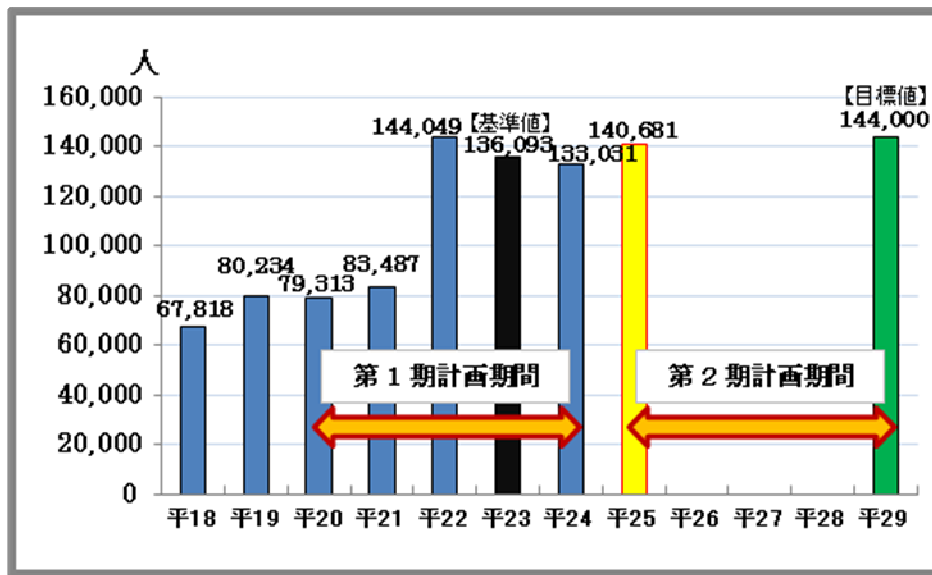
認定1年目であるため、前回フォローアップは行っていない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

1) 「まちなか観光による交流人口の増加」(関連施設の年間入込み客数(中心市街地主要4施設))

※目標設定の考え方基本計画 P65～P67 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H23	136,093 人 (基準年値)
H25	140,681 人
H26	
H27	
H28	
H29	144,000 人 (目標値)

※調査方法：中心市街地主要4施設の入込み客数

※調査月：通年(1月～12月)

※調査主体：大野市

※調査対象：平成大野屋、越前大野城、民俗資料館、武家屋敷旧内山家

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①越前おおのおもてなし事業(大野市)

事業完了時期	【実施中】平成29年度
事業概要	まちなかと郊外の観光資源を結びつける観光ルートの開発、宿泊を伴う観光客を誘致する事業である。
事業効果及び進捗状況	隣接市にある福井県立恐竜博物館に「食べ歩きマップ」を設置するなど誘客の魅力を高めた。まちなか遠足やシルバーエイジまちなか散策の誘致を進めた。

②歴史的建造物保存整備事業(大野市)

事業完了時期	【実施中】平成26年度
事業概要	大野藩家老の「田村又左衛門家屋敷」の復元解体に係る調査及

	び保存整備、庭園・通路などを整備する事業である。
事業効果及び進捗状況	完成後を見据えて近隣の文化施設を回遊する散策ルートの設定及び誘導サインの整備を行うことで相乗効果が期待できる。平成25年度は復元に向けた調査を行い、建物の解体に着手した。

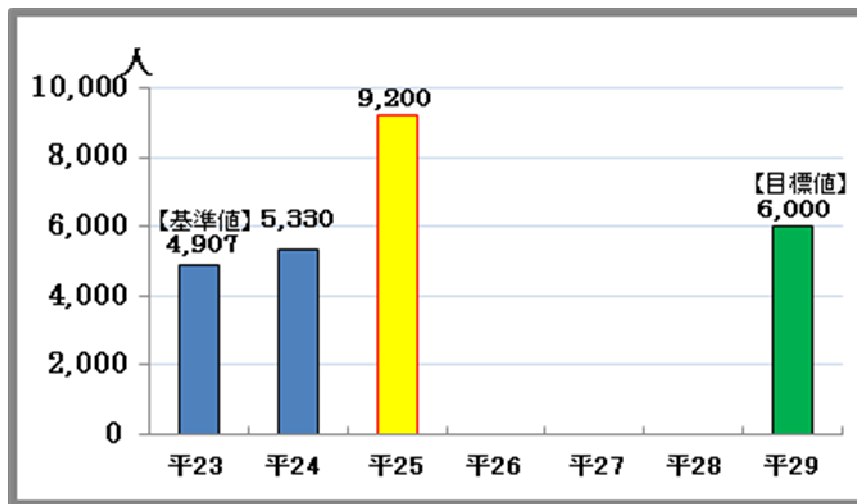
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成25年度の「関連施設の年間入込み客数（中心市街地主要4施設）」は、目標達成に寄与する事業の着実な実施に伴い、前年を上回って推移した。「越前おおのおもてなし事業」の実施により、まちなか遠足65件5,040人、シルバーエイジまちなか散策162件、4,640人が訪れた。今後は、「歴史的建造物保存整備事業」の完了に合わせた散策ルートの設定などを行っていくことにより有機的に回遊する仕組みを構築していくことで、目標達成は可能であると見込んでいる。

2) 「商店街を中心としたまちなか生活の充実」（1日当たりの歩行者通行量(休日)春・秋の合計値)

※目標設定の考え方基本計画 P68～P70 参照

●調査結果の推移



年度	(単位)
H23	4,907人 (基準年値)
H25	9,200人
H26	
H27	
H28	
H29	6,000人 (目標値)

※調査方法：中心市街地7地点、12時間連続調査

※調査月：春（5月）及び秋（10月）

※調査主体：越前おおの中心市街地活性化協議会

※調査対象：平成大野屋前、ねんりんの里前、七間本陣付近、観光協会付近、旧Fマート前、越前大野駅前、野村醤油店前

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①中心市街地商店街賑わい集客施設整備事業（仮称）（株結のまち越前おおの）

事業完了時期	【未】平成29年度
事業概要	遊休不動産を活用したコミュニティカフェ等の整備を行う事業である。
事業効果及び進捗状況	増えている観光客に対して商店街で不足している業種を補うことにより滞在時間の増加が見込まれ、地域経済の活性化につなげることができる。平成25年度では、遊休不動産の現況調査

	や来街者のニーズ調査などを行っており、事業化に向けた準備を進めている。
--	-------------------------------------

②歴史の道再生事業及び新にぎわい商業ゾーン形成事業（大野市）

事業完了時期	【実施中】平成26年度
事業概要	本町、七間、五番、横町、春日の各通りに提灯を設置して街区の景観形成を図るとともに、高校生によるチャレンジショップ設置を行うなど商店街を中心にまちなか全体に活気と賑わいを創出する事業である。
事業効果及び進捗状況	温かみのあるやわらかな光で通りを照らす提灯の設置により夜はもちろん、日中にも城下町の雰囲気印象付けることができ通りに連続性をもたせることができる。平成25年度は美濃街道沿いに25基が設置され、町家のライトアップも計画されている。

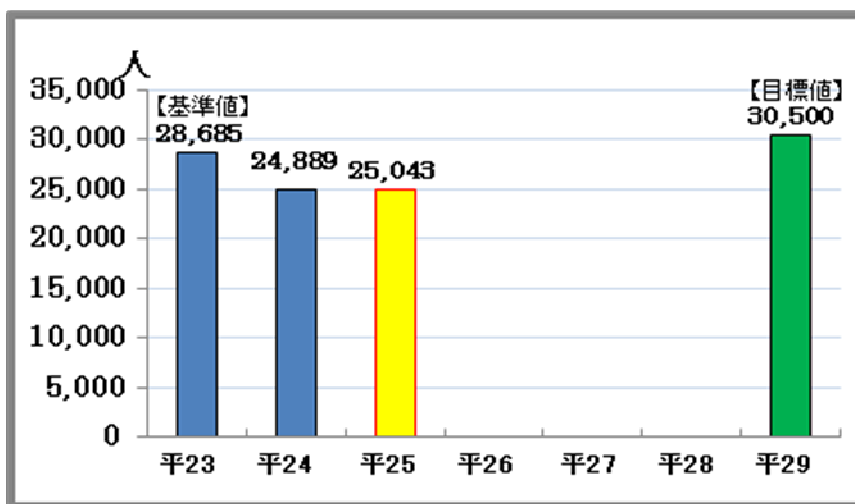
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成25年度の「1日当たりの歩行者通行量(休日) 春・秋の合計値」は目標達成に寄与するソフト事業を各商店街で実施したことなどにより、目標数値を大きく上回った。また、株式会社 結のまち越前おおのによる「中心市街地商店街賑わい集客施設整備事業」(仮称)は施設整備に向けた実現調査を実施しており、テナント誘致や事業採算性について検討に入っていることから、引き続き取り組みを進めることで目標達成は可能であると見込んでいる。

3)「豊かな暮らしを支える公共交通の実現」(まちなか循環バス、乗合タクシー利用者数(年間))

※目標設定の考え方基本計画 P70~P72 参照

●調査結果の推移



年度	(単位)
H23	28,685 人 (基準年値)
H25	25,043 人
H26	
H27	
H28	
H29	30,500 人 (目標値)

※調査方法：まちなか循環バス、乗合タクシーの乗車人数

※調査月：通年(4月~3月)

※調査主体：大野市・運行事業者

※調査対象：利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①市民ホール整備事業（大野市）

事業完了時期	【実施中】平成26年度
事業概要	市役所新庁舎の新築に際し、庁舎1階に市民ホールを設けてギャラリー等として活用する事業である。
事業効果及び進捗状況	市民ホールを市民展示やイベント会場として利用するほか情報コーナーを設けることで、公共交通を活用した地域住民の交流、観光客を含む来庁者の回遊性を高めることができる。平成25年度は市民ホールの基礎及び躯体工事を実施した。

②バス停留所整備及び城下町南広場整備事業（仮称）（大野市）

事業完了時期	【実施中】平成28年度
事業概要	六間通り（国道476号）の歩道拡幅に伴いバス停留所を設置するとともに、市役所現庁舎跡地に防災機能を備えた多目的広場を整備する事業である。
事業効果及び進捗状況	六間通りの歩道拡幅に伴いバス停留所を設置することで公共交通を活用したまちなかへの回遊性を高めることができる。平成25年度は六間通り南側の歩道拡幅工事が行われた。市役所跡地は整備に向けた実施設計を行った。

③高齢者ゆうゆう購買促進事業（大野商工会議所、商店街振興組合連合会、大野市）

事業完了時期	【実施中】平成27年度
事業概要	協賛店にて買物またはまちなか循環バス等を利用した際に特典を付与することで消費の拡大を図る事業である。
事業効果及び進捗状況	まちなかにおける高齢者の購買促進を図ることで地域経済の活性化を図ることができる。平成25年度は買物での特典のほか、まちなか循環バス等の利用促進を図るため1回乗るごとに特典を付与した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

まちなか循環バスは本格運行を開始するにあたり、便数の再編・効率化を行った。本格運行を開始した平成24年度以降、1便当たりの乗客数は試験運行時と比較して増加しており、市民の足として定着しつつある。

平成25年度は「高齢者ゆうゆう購買促進事業」によりまちなか循環バス等を利用した高齢者に特典を付与することで利用促進を図ったが、26年度からは対象を市外の高齢者に広げ実施していく。

今後は高齢者に分かりやすい時刻表の全戸配布をはじめ、大野商工会議所や各商店と連携したまちなかの活性化を図るサービスの提供など、市民の利用を増やす対策を講じることで、目標達成は可能であると見込んでいる。